

令和5年度

第2回

松伏町廃棄物減量等推進審議会

会議録

日時：令和5年12月19日（火）午後2時00分から

場所：松伏町役場 第二庁舎 3階 301会議室

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回 松伏町廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和5年12月19日(火) 午後2時00分から午後3時45分まで
開催場所	松伏町役場 第二庁舎 3階 301会議室
出席委員氏名	大塚会長、中山副会長、今井委員、河田委員、横内委員、前田委員、鈴木委員、小島委員
欠席委員氏名	石川委員、佐藤委員
事務局等	環境経済課 課長 後藤 秀徳 環境経済課 主幹 関根 茂 環境経済課 主任主事 松土 千麿 一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会 長濱 一幸 一般社団法人 埼玉県環境検査研究協会 大塚 俊彦
次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議題 (1) 一般廃棄物処理基本計画(案)について (2) その他 4 閉 会
配布資料	・松伏町一般廃棄物処理基本計画(現行) ・松伏町一般廃棄物処理基本計画(改訂案) ・松伏町ごみ収集カレンダー(2023年度版)
傍聴人	0名
会議録作成者	環境経済課 生活環境担当 主任主事 松土 千麿

協議または調整の要旨

議事	発言者	発言内容・決定事項
1 開会	事務局	会議の開会を宣言
2 あいさつ	大塚会長	会長のあいさつ
3 議事	事務局	出席委員8名、欠席委員2名であり、出席委員が過半数を超えているため、会議が成立していることを報告した。

		<p>前回審議会で横内委員より質問があった「審議会の公開」について、他審議会の例を参考に、「松伏町廃棄物減量等推進審議会傍聴要綱」を制定し、本日から施行すると説明した。</p> <p>議事進行を会長にお願いした。</p>
<p>議事（１） 一般廃棄物処理基本計画（案）について</p>	<p>大塚会長</p> <p>事務局</p> <p>大塚会長</p> <p>横内委員</p> <p>事務局</p> <p>横内委員</p>	<p>議事（１）一般廃棄物処理基本計画（案）について、事務局から説明を求める。</p> <p>一般廃棄物処理基本計画（案）について説明した後、委員から事前に提出された質問とその事務局回答について説明した。</p> <p>質問、意見等がある場合、発言を求めた。</p> <p>当町が他の自治体と比較して、最終処分される割合が非常に高いことがグラフを見てわかったがその理由について教えてほしい。</p> <p>最終処分される割合が高くなる要因として、排出されるごみの資源化が図られていないためと考えられます。</p> <p>計画（案）の２５ページに示すように、近年、集団資源回収の量が急激に減っています。集団資源回収はごみの再生利用率に直結する値であり、この値が減ることで、逆に最終処分される割合が増えることとなります。集団資源回収の量が減った原因としては、コロナ禍で活動を停止し、その後活動を再開されない団体が多かったことが要因と考えています。</p> <p>集団資源回収量が減っていることは分かりました。その減少分は可燃ごみなどの一般ごみとして出されているという認識でよろしいで</p>

		しょうか。
	事務局	そのとおりです。
	横内委員	計画（案）36ページの達成状況の目標値について、ある程度の許容量を何%かで設定するものではなくて、目標値を1gでも下回ったか上回ったかで、達成・未達成を判断しているものでしょうか。 例えば、ごみの量を2、3%以上増やさなかったというのも評価のポイントになると思う。
	事務局	数値目標の設定の仕方は46ページ以降でお示しするように、国や県の数値目標も何%かの許容量を設けるものでなく、何gという固定値で設定しています。 他市の目標設定の状況なども確認します。
	河田委員	ごみの収集の仕方について、回収場所を設置して、そこにいつでも持って行ける場所を作れば、例えば紙を資源に回せるというような期待が持てるのではないかと思うが、町の考え方はどうですか。
	事務局	拠点回収については、役場主導で公共施設において行っています。一方でいなげやさんなどのスーパーでペットボトルや紙類などの拠点回収を実施されていますが、これはごみ集積所を補完するという意味合いで非常に有効な施策であると考えているため、計画（案）の53ページ、目標達成に向けた施策として2-2-②で記載しています。

議事（２） その他	大塚会長	（２）その他について事務局から説明を求める。
	事務局	その他について、事務局からは案件が無いことを説明。
	大塚会長	質問、意見等がある場合、発言を求めた。
	小島委員	処理困難物について、実際には燃えないごみの袋などの中に入れられてしまって、リサイクルセンターに搬入されています。搬入されてしまえば処理するしかなく、その処理費用は高い。処理費用等について、町民がどの程度知っているのか気になります。
	中山副会長	数年前にレジ袋が有料化してから、燃えるごみの袋1つ当たりに入れられるごみの量が増えたように感じます。 燃えるごみの中身に資源化できるものがまだ多く入っている印象を受けます。カン・ビンはほぼないが、紙類は多い。ペットボトルもまだ分別が徹底されていない印象で、これらが分別されればごみの減量化につながると思う。生ごみの水切りは出来ていて特に目立っていません。
	大塚会長	前回審議会でも、子どもたちにごみの教育をしていく必要性について話が出たが、子育て世代にも周知が必要と考えます。 せつかくの審議会であるので、我々から発信していきたい。 ごみ収集カレンダーの分別説明も、より見やすいものを作成していくことが必要と思われます。
	大塚会長	紙おむつについて、現在は一般廃棄物として

	事務局	<p>扱っていると思いますが、これから増えていくと思われる感染症の方の紙おむつは特別管理になるのではと考えています。町はどうお考えでしょうか。</p> <p>介護施設はもちろん、今は一般の家庭からも紙おむつが排出されています。紙おむつに限らず、分別をして収集ということは、再生・処分先まで確立しておく必要があります。先進事例ではおむつ工場と連携して、再利用しているところもあり、地理的な条件などありますが、いろいろと模索しながら検討を続けていきたいと考えているため、皆様からの情報提供などもいただけると大変ありがたいです。</p>
4 閉会	事務局	会議の閉会を宣言